

平成28年度 情報工学コース卒業研究報告要旨

山本 研究室	氏 名	塚本 大地
卒業研究題目	インターネットサービス構築法の モデル化に関する研究	
<p>本研究では、インターネットサービス構築法のモデル化を目的とし、様々な種類のインターネットサービスに対して調査を行うことでインターネットサービスの構成要素を分析し、各種のネットサービスの共通性を「共通性分析表」によって明らかにした。そして、その「共通性分析表」から「フィーチャーモデル」が作成できることを示した。また、「共通性分析表」と「フィーチャーモデル」を活用することで、インターネットサービスの構成モデルやその構成手順を図式化することができることや、それを用いて実際にインターネットサービスを効率的に開発できる可能性を明らかにした。</p> <p>本研究で行った調査の手順は次の通りである。まずは実際のインターネットサービスについてそれを構成する要素を調べ、それを「情報源」「情報収集」「情報加工」「情報提供」「付加活動」「情報評価」の6種類に分類した。調査対象としたインターネットサービスは、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの「Facebook」、キュレーションサービスの「NAVERまとめ」、検索サービスの「Google」、予約サービスの「じゃらん」「TripAdvisor」、購買サービスの「Amazon」である。その結果をインターネットサービス共通性分析表にまとめ、さらにそれぞれのサービス形態についてフィーチャーモデルを作成した。その結果として、インターネットサービスが6個の要素から構成されること、これらの要素がさらに詳細な要素から構成されるという階層的な構成があることが判明した。このフィーチャーモデルはインターネットサービスが機能として持つものを表す一般的な構成を表しており、新たなインターネットサービスを構成する際の指標としての利用が期待される。</p> <p>本研究では、作成した共通性分析表とフィーチャーモデルを用いて、インターネットサービスの構成実験を実施した。この結果、共通性分析表とフィーチャーモデルを用いた構成手順を考案した。本実験で行った構成手順は次の通りである。まずインターネットサービスについて、ジャンルの定義、提供サービスの定義とそれぞれ提供するサービスに対する収集する情報の定義、情報源の定義、情報の加工・評価方法の定義、そしてそのサービスとは別に行う付加活動の定義を行った。実験結果から、インターネットサービス構成モデル及びサービス構成手順を利用することで、実際に運用可能なレベルのインターネットサービスを構成できることを確認した。</p> <p>本研究における共通性分析表のデータをシステム構築時のベースとすることにより、従来のようにゼロからインターネットサービスのシステムを構築する必要がなくなり、システム構築に要する時間を大幅に短縮することができる。また、本研究では、自身のサイトを他のサイトと真に差別化するためにはサービス構築者独自のアイデアが必要となるという問題に対するソリューションを提供する。すなわち、共通性分析表を用いることで独自アイデアの考案により多くの時間を割くことができるため、より独自性の高いサービスを構築することができる。また、共通性分析表から作成したフィーチャーモデルには複数ジャンルのサービスサイトに関する情報がまとめてあるため、自身の選択したジャンルのサイトに他ジャンルのアイデアを取り入れることも容易になる。</p>		